

# 「学びを止めない！これからの遠隔・オンライン教育」 普段使いで質の高い学び・業務の効率化へ

パンフレット  
概要

学びを止めない！  
これからの遠隔・オンライン教育  
普段使いで質の高い学び・業務の効率化へ

令和2年度 遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証

令和2年3月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として、多くの学校で長期・短期の臨時休業が行われました。この期間中にも、遠隔教育の取組、一部の学校・地域では「仮設授業」や「仮設教室」による授業が行われ、遠隔・オンライン教育が実施された。遠隔・オンライン教育の活用に関する取組は、学校での実施状況については、学校単位で実施状況の調査が行われ、調査結果は、各一斉臨時休業実施が実施される可能性も高まっています。

このように、授業や給食等の取組が実施された際、長期休業のため児童生徒が学習する機会を失う懸念が生じていることがあり、手前も、学習の機会を確保する必要がある。そのためには、どのような学習支援が有効なのか、遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証の取組が実施されています。

遠隔教育システムは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として、学校に導入された。遠隔教育システムは、学校に導入された。遠隔教育システムは、学校に導入された。

掲載例

## 主な掲載内容

### ・学びを止めない遠隔・オンライン教育 具体的な取り組み

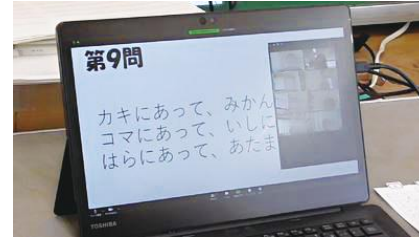
- ・Withコロナ・ポストコロナにおけるICT活用
- ・ICT機器やシステム等の環境整備・準備
- ・遠隔教員研修 など

新型コロナウイルス感染症による  
臨時休業中の取組等を紹介

## 児童生徒とつながる・児童生徒同士がつながる

～オンラインでホームルーム・健康観察で会話する機会を確保～

・毎日決まった時間にWeb会議システム上に集まって教員や生徒がお互いの顔を見ながら話をしたり、健康観察を行いました。教員や児童生徒同士が顔をあわせて会話する機会は大きな安心につながり、生活リズムの安定にもつながります。



高森町立高森中学校では、Zoomを活用し毎朝20分間程度のオンライン健康観察を行いました。身近に時間の中で交流できるよう、体操やクイズを行う等の趣向を凝らした活動も行われました。

## 学びを止めない

～オンラインでの学習支援で児童生徒に寄り添う学習～

・Web会議システムを用いて、教員と各家庭をつないだ遠隔学習が行われました。時間割に従って実施したり、教わりたいことがある児童生徒だけが個別につないで学習支援を受けたりするなど、様々な形態で実施できます。



高森町立高森東学園義務教育学校では、Zoomを使ったオンライン学習を行いました。画面共有したりカメラで黒板を映したりしながら資料を提示し、通常の授業と同じように学習を進めました。児童生徒は分からないことがあればチャットで質問したり、学習後に自由接続の時間を設けて個別に指導するなどの対応も行われました。

詳しくはこちら→遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証事業（令和2年度）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00932.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00932.html)